

<横浜市会議員（旭区選出）古川なおきの活動報告>

第36号

2003年11月20日

一月刊



# 古川なおきレポート



古川レポート編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50  
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@furukawa2002.com

## ふたりの教育者

先日二人の熱血教師と学校経営者にお会いする機会をいただいた。

一人は私の小学校時代の恩師である熱血教師の代名詞のような人で、よく怒られてゲンコツをもらったり、ドックボールでは容赦なく思いっきりボールを投げつけるので、受け取り方が悪くお腹の溝で受けてしまい、しばらく動けなくなったりすることもあった。その反面インコやウサギの飼育をさせたり、自分が山で撮影した草花の写真を見せて、動物や草花を大切にすることを教えてくれるやさしい心を持った人でもあった。

先生は佐賀県から上京し、民間で働いた後、学校用務員になった。用務員室に訪ねてくる子どもたちがかわいかったので、教師になることを決意し、教職課程を修了後、教員採用試験を受け横浜市教育委員会に採用が決まった。その時の面接官だった校長先生を拝んだというのだから本当に嬉しかったのだ。給与や待遇のことなど全く考えず、子どもたちを教え、ただ一緒に過ごすことができることを心から喜んだ。今でも管理職には付かず現役で担任のクラスを受け持ち、直接子どもたちを教えることに生きがいを感じている。

私も必ず得意なことや良い面がある。私はそれを忘れないで子どもたちと接している。「と語る先生の顔は自信と責任感に溢れている。」先生は一度も自分のクラスから虐めや不登校にさせたことがないと言いつつ、真剣に子どもと向き合っていないと断言。若い先生の指導にも取組んでいながら、最近採用数が少ないため、教職員の採用には結果的にペーパー試験が重視されていることを先生は嘆いていた。教師も一度社会経験をさせてから採用すべきという意見は私も同感である。このように私の恩師は聖職と呼ぶに相応しい先生だと思ふ。

もう一人は青年起業家として飲食業を全国展開し成功したこともある私立学校経営者である。カンボジアに小学校を造るボランティアをしていたが、日本の子どもたちが夢を持ってない現実を憂い、教育界を改革する志を立て、私立学校の経営に乗り出した方だ。

職員室で教職員に向けて次のように話したそうだった。

「昔は教師は聖職とされていた。聖職というのはいかにも命がけで行う仕事である。その仕事の対象のために死ぬ覚悟があるのかということがある。例えば昔の教師は、生徒のために自分の生活を犠牲にして指導した。子どもを育てて熱心に指導して、命がけで生徒を教えることのできる人はいれば今すぐ出て行ってもらいたい！」そして、生徒と教師の幸せと役割について学校職員組合と話し合ったところ3ヶ月目にその職員組合は解散した。

教師は生徒のため、医師は患者のため、公務員は市民のため、もちろん政治家も真剣に社会のために行動することができなければならない。自分自身も自問自答している。

古川 なおき

### 古川なおきプロフィール

naoki@furukawa2002.com

昭和43年8月31日横浜市生まれ 35才  
県立希望ヶ丘高校卒業  
明治大学政経学部卒業  
横浜銀行勤務後、議員秘書となる  
平成7年横浜市議員初当選(26才)  
自民党横浜市支部連合会副幹事長  
平成15年度市民建築常任委員会委員長  
平成15年度接収解除促進特別委員会  
希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会評議員  
旭区スポーツダンス協会顧問  
旭区サッカー協会顧問  
横浜青年会議所(JC)  
日本動物福祉協会横浜支部支部長  
鶴ヶ峰商店街協同組合顧問  
卓球本間クラブ所属

### 古川なおきの主な予定

11月27日	市民建築委員会
12月5日	本会議（議案上程）
6日	不動丸小学校 30周年記念式典
7日	旭区卓球大会 旭リトル卒団式
8日	旭区社会福祉大会
10日	本会議（一般質問）
11日	市民建築委員会
18日	本会議（採決）
25日	接収解除促進特別委員会

# なおきの市会活動報告

私は10月2日の決算特別委員会で質問をしました。質問の内容を決めるにあたり、私の場合、①市政改革に有効と思われる分野（特に財政改善や市民サービス向上に関するもの）②市政目安箱の回答やメール等いただいた皆さまのご意見等、を参考にさせていただいております。

今回は特に市政目安箱で多くのご意見をいただいた「受動喫煙防止について」を中心に、私が活動テーマとする「民間の経営感覚を役所へ！」の考えに基づいて質問をしました（その他の項目は下記のとおり）。

## ＜その他の質問＞

- ・ 公用車廃止について
- ・ 横浜市市政問い合わせセンターについて
- ・ 新時代の行政プラン・アクションプランについて
- ・ 受動喫煙の防止について
- ・ 区長の庁内公募について
- ・ WFP（国連世界食糧計画）の支援について

## ～～受動喫煙防止についての質疑応答～～

**古川** 市庁舎では受動喫煙を防止するためにどのような対策を講じられているのでしょうか。

**総務局長** 庁舎の対策ですが、各階に喫煙所を設け他では禁煙に、また喫煙所からは外部排気による副流煙の防止をしています。職員の喫煙率も低下の傾向にあります。

**古川** 今後受動喫煙防止対策やたばこのポイ捨て対策など、たばこ関連の問題に関してはどのように取り組んでゆくのでしょうか。

**副市長** 社会全体の問題として喫煙問題への考え方が変わってきていることもあり、市全体で取り組むべき問題であると認識しています。

最近、JTの調査で喫煙率が8年連続減少傾向にあるとの報告がありました（全国成人喫煙率30.3%）。

しかし吸う人と吸わない人がいる以上分煙化は必要で、横浜市役所でも総務局と衛生局を中心に「煙の流れ出ない喫煙場所の設置」に重点をおいて取組が始められています。市民の皆さんがいらっしゃる庁舎や施設内での分煙の徹底は市民のみならず職員の皆さんの健康にも影響し、健康がありはじめて市民サービスの向上が実現されるものと考えます。今後も受動喫煙防止対策について、声を大にしていきます。

## ☆プラザプラザについて☆

古川なおきレポート35号に、月刊誌プラザプラザに古川なおきが連載している記事を掲載しましたが、そもそも「プラザプラザとは何ですか？」という質問が多数寄せられました。



「プラザプラザ」は、国籍・民族、性別、職業、世代等様々な違いを超えたクロスカルチャーネットワークマガジンです。読者に留学生が多いため、ほとんどの記事が日本語と英語で表記されています。国際文化交流についての記事が大半を占めますが、書評やプラザプラザ主催イベント、ボランティア募集などの内容で盛りだくさんです。古川事務所にありますので興味のある方はご連絡ください。

※1部500円です

## 民間の経営感覚を役所へ！

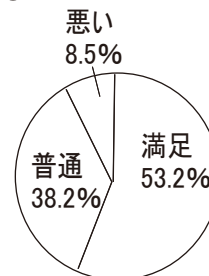
### 旭区役所で市内初の取り組み！

### 「お客様」アンケートの実施結果報告

古川なおきレポート35号で「親切でわかりやすい旭区役所サービス」の向上ための取組について掲載しましたが、9月には「お客様」アンケートが実施され結果がでました。

- ☆実施期間 2003年9月16日～22日
- ☆配布枚数 3,556枚 ☆回収数数 1,250枚 (35.1%)
- ☆目的 全来庁者を対象とした職員の評価
- ☆アンケート内容と結果

#### ①窓口への評価



#### ②窓口向上への自由意見

- ・土日も開けて欲しい
- ・事務処理のスピードアップ、簡素化
- ・混雑時の窓口人員の応援

#### ③区政に対する具体的要望

- ・道路整備・交通利便性・交通安全
- ・福祉保険サービスについて
- ・ごみ・リサイクルについて
- ・地域活動について

旭区役所は「このアンケートの結果を受けて、職員によって対応に差があることが明らかになった。今後の改善のため次の取組を行います。」とコメントし、全職員を対象に接遇研修を行うこと（12月実施）、区政への提案については可能なものから実施していくことを発表しました。さらに詳しい結果はホームページで見ることができますのでご参考ください。

[www.city.yokohama.jp/me/asahi/kisha/pdf/20031031.pdf](http://www.city.yokohama.jp/me/asahi/kisha/pdf/20031031.pdf)

## 古川なおきスクエア参加者募集中！

What's square?→大学生、専門学校生による勉強会です。さまざまな方向に向かって積極的に視野を広げていこう！という若者が集まり、今後も活動していきます。ぜひご参加ください！

[www.furukawa2002.com](http://www.furukawa2002.com)を見てくださいね！